

第2章

市勢のあらまし

第2章 市勢のあらし

1) 市の変遷

本市は、古くは縄文・弥生時代にさかのぼる昔から人々の営みが続けられてきた土地で、大小 200 基を超える古墳、無土器時代の石器などがその歴史を物語っています。

特に、宝塚の地名もこれらの古墳＝「宝の塚」に由来しています。

本市の市制施行は、昭和 29 年 4 月 1 日に武庫川を挟んで武庫郡良元村と川辺郡宝塚町が合併し、面積 28.3km²、人口 40,581 人となり、全国で 363 番目、兵庫県下では 15 番目の市として誕生しました。そして、翌昭和 30 年 3 月 10 日に川辺郡長尾村を、さらに同年 3 月 14 日に川辺郡西谷村をも編入し、この結果、宝塚市の市域面積は、宝塚町の 10.8km²、良元村 17.5km²、長尾村 12.9km²、西谷村 64.1km² で合わせて、101,89km² の現在の市域が確定しました。人口は、宝塚町 16,254 人、良元村 24,327 人、長尾村 9,960 人、西谷村 5,891 人でした。その後は、神戸・大阪市の大都市圏の住宅都市として目覚ましい発展を遂げ、昭和 42 年には人口 10 万人を突破し、その後も人口は着実に増加し続け、昭和 62 年には全国で 100 番目の 20 万都市になり現在に至ります。



図 2-1 宝塚市位置図

2) 位置と市勢

本市は、兵庫県の南東部に位置し、南北 21.1km、東西 12.8km と南北に長く、北摂山地及び六甲山地の二つの山地ならびに山麓扇状地としての武庫平野で形成され、平野部の中央には南北に武庫川が流れています。

市域の東は、川西市、猪名川町、南は西宮市、伊丹市、西は、神戸市、三田市にそれぞれ接しています。

市域の面積は 101.89km² で兵庫県全体の面積 (8,395.47km²) の 1.2% を占めています。



図 2-2 宝塚市域図

3) 気候と風土

東側の北摂山地と西側の六甲山地に囲まれ、都市としての成熟が進んだ南部地域は、武庫川を挟んで平野部と標高差 552m の山麓中腹部まで住宅地が形成されており、都市部への通勤圏内としての近郊職住都市として発展し、成熟した市街地を形成しています。また、北摂山地の北側に位置する北部地域は、自然豊かな環境を活かした小集落が形成されており、自然と調和した住宅都市として発展してきました。

本市の気候は、瀬戸内型気候に属し、南部地域は年平均気温 15℃～16℃、年間降雨量は 1,300mm～1,500mm、年間晴天日数は 200 日以上と年間を通じて比較的温暖な気候であり、南部地域に比べ、北部地域はやや寒暖の差が大きく、大陸型の気候となっており、特に近年は降水量の変化が著しくなっています。(図 2-3 参照)

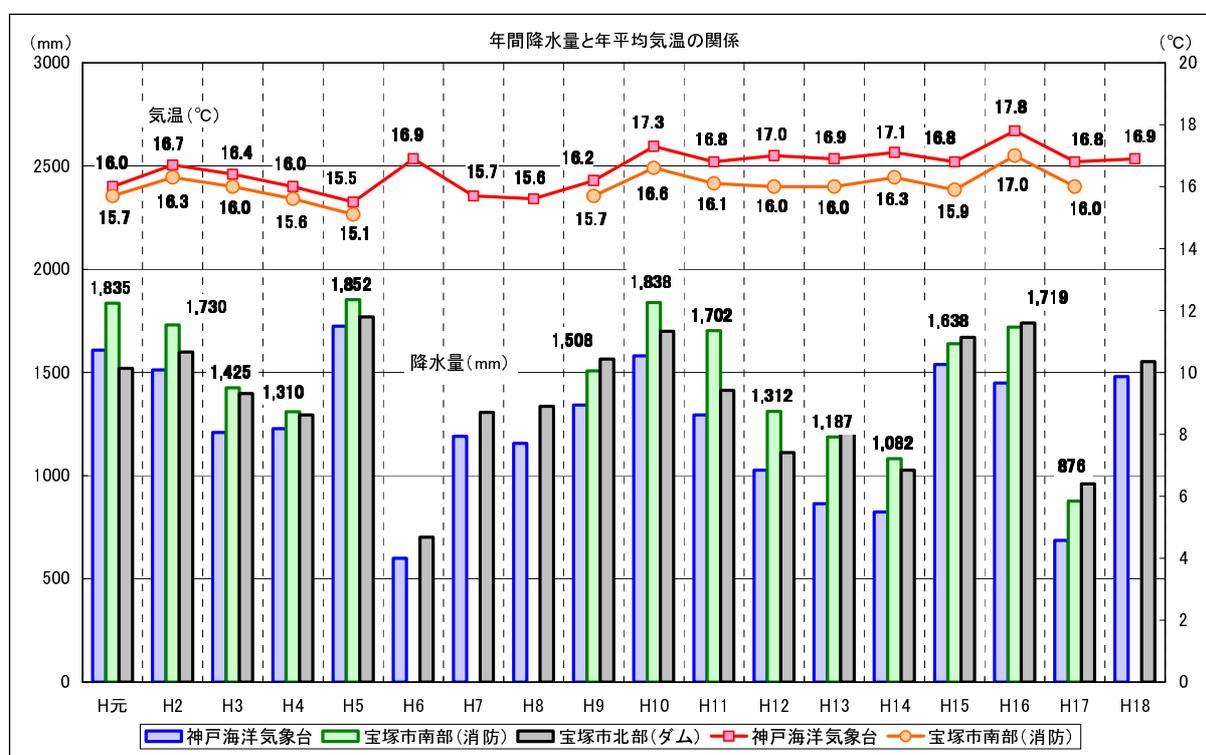


図 2-3 年間降水量と年平均気温の関係

4) 経済と産業

本市では、華やかな舞台が演じられる宝塚歌劇の本拠地として、宝塚大劇場や宝塚音楽学校があり、数々のスターが巣立った宝塚音楽学校の旧校舎を文化創造館として保存・利活用することとしています。

また、宝塚温泉・武田尾温泉、中山寺・清荒神などの神社仏閣、小浜宿、手塚治虫記念館、ゴルフ場、阪神（宝塚）競馬場などがあり、観光レクリエーション都市として全国から多くの人が訪れています。

このように、本市の経済は観光と結びついた商業が主体となっていました。旅館・保養所・遊園地の廃業等の影響と駅前再開発ビルの空洞化により経済が停滞する中、中心市街地の活力と魅力を再生するため、全国都市再生モデル事業として「宝塚市中心市街地地区都市整備計画」を行うなど、駅周辺の市街地再開発事業により整備した商業集積と一体となって活性化に取り組んでいます。

表 2-1 産業3分類別就業者数の推移

単位：(人)

区分	H7	H12	H17
総数	94,828	97,751	98,493
第1次産業	1,210	1,131	1,067
農業	1,200	1,126	1,057
林業	9	4	8
漁業	1	1	2
第2次産業	24,956	23,097	20,963
鉱業	18	31	5
建設業	8,017	7,389	6,501
製造業	16,921	15,677	14,457
第3次産業	68,091	72,351	73,990
卸売・小売業	24,026	23,952	18,838
飲食店・宿泊業			4,456
金融・保険業	4,403	3,804	3,325
不動産業	2,080	2,450	2,640
電気・ガス・熱供給・水道業	617	616	496
情報通信業	5,220	5,563	3,277
運輸業			3,982
医療・福祉	28,066	32,284	9,469
教育、学習支援業			6,319
複合サービス事業			682
サービス業(他に分類されないもの)			16,790
公務(他に分類されないもの)	3,679	3,682	3,716
分類不能の産業	571	1,172	2,473

資料 資料 総務省統計局「国勢調査報告」（各年10月1日現在）

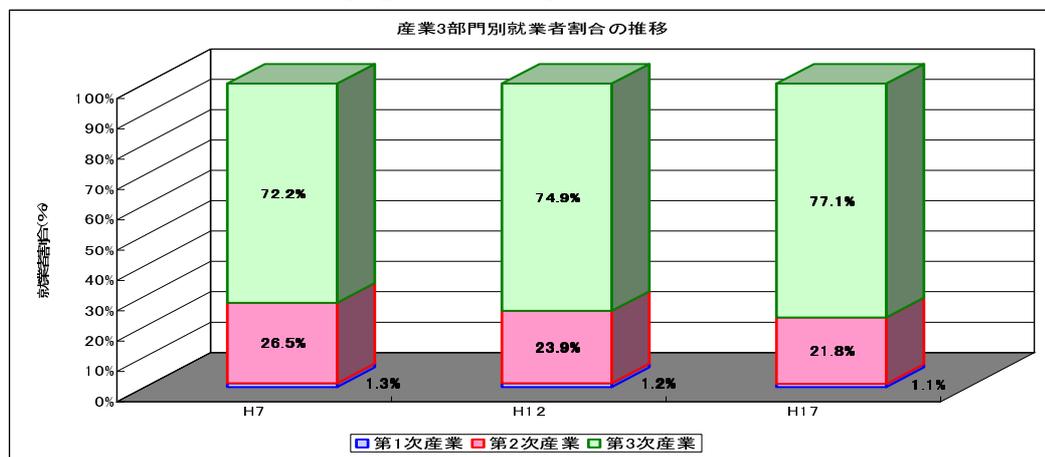


図 2-4 産業3部門就業者割合の推移

一方、本市の代表的な地場産業である花卉植木産業は千年の伝統があり、南部山本地区では鉢物から庭園樹まで様々な品目が生産・販売されており、同地区には花卉植木の情報発信基地として園芸振興センター「あいあいパーク」があります。また、北部上佐曽利地区では、多品種のダリア栽培が行われており、特に球根は全国はもとより世界各地に出荷されています。(図 2-4 参照)

5) 交通

本市の道路網は、中国自動車道、国道 176 号、県道及び市道で構成されています。

本市の都市計画道路は、昭和 27 年に 5 路線を決定して以来、昭和 44 年に都市計画法が全面改正になるまでに 16 線を追加決定し、法改正後 22 路線をさらに追加し、現在では 43 路線、延長 55.45km に及んでいます。

一方、本市を通る鉄道は、JR 福知山線（呼称 JR 宝塚線）、阪急宝塚線及び今津線があり、総駅数は 13 駅あります。なかでも、市の代表駅として中心的な役割を担っているのは、宝塚駅（JR 西日本、阪急電鉄）です。

なお、宝塚駅から大阪の梅田方面へ向かう電車のルートは、阪急宝塚線、阪急今津線、JR 福知山線の 3 つのルートがあります。（図 2-5 参照）

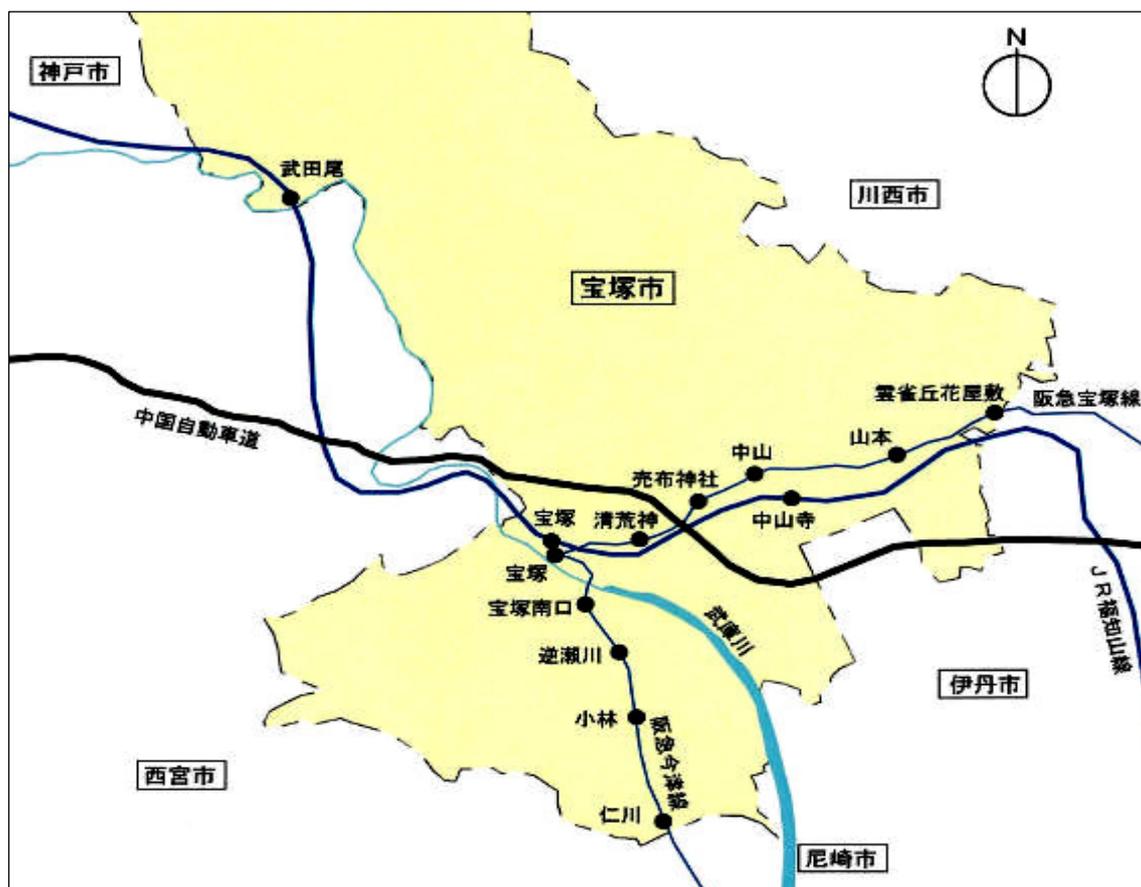


図 2-5 宝塚市内の道路網・鉄道網路線図